

# 令和8年度 事業計画書

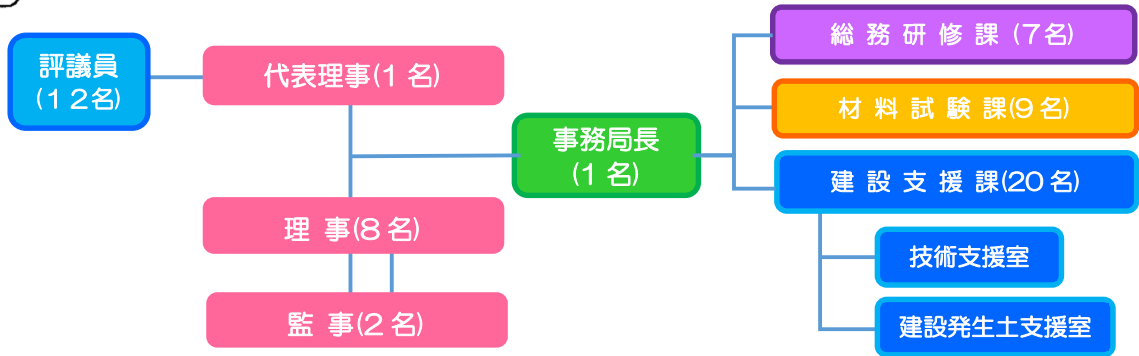
令和8年4月1日から令和9年3月31日まで

公益財団法人鳥取県建設技術センター

# 目 次

①	組織	1 頁
②	事務局職員	1 頁
③	令和 8 年度事業一覧表	1 頁
	令和 8 年度事業別収支予算一覧表	2 頁
④	社会資本整備事業	3～15 頁
	1-1 研修事業	
	1-1-1 自主研修	(3～5 頁)
	1-1-2 受託研修	(6 頁)
	1-1-3 ICT (デジタル化) 関連の研修	(6 頁)
	1-1-4 その他の研修	(6 頁)
	1-2 図書等頒布事業	7 頁
	1-3 試験検査事業	8～9 頁
	1-4 技術支援事業	10～12 頁
	1-5 建設発生土受入事業	13～15 頁
⑤	法人の運営・管理の運営	16 頁

# 1 組織



※業務スタッフ、日々雇用職員含む

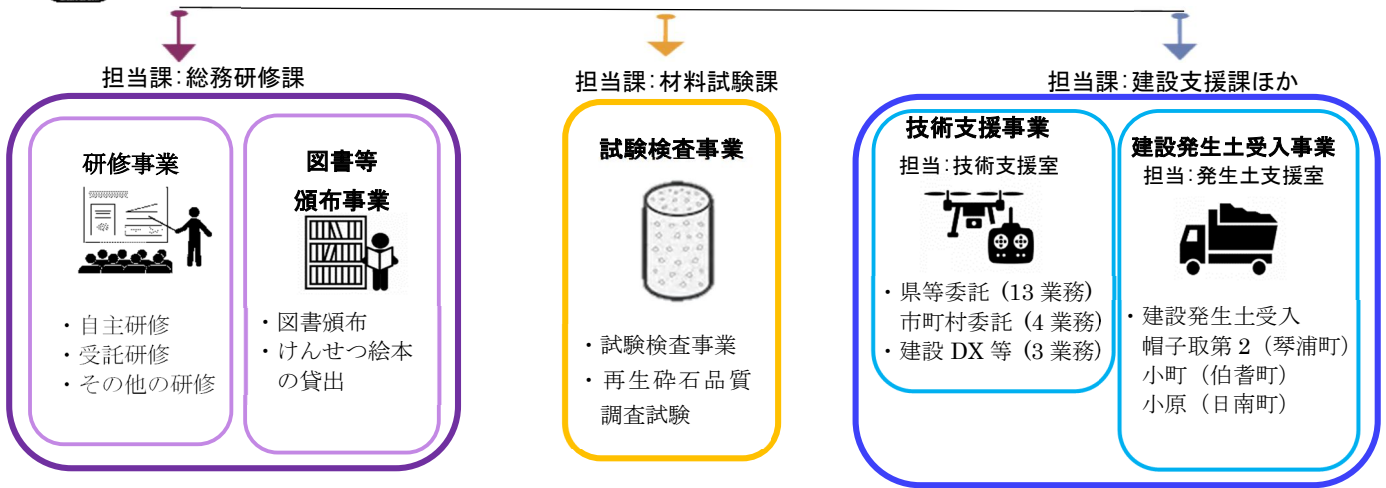
# 2 事務局職員

(R8.3.1 現在)

所 属	主な業務	職 名	氏 名	備 考
		事務局長	草野 雅 昭	
総務研修課	<ul style="list-style-type: none"> <li>研修事業（自主、受託研修）</li> <li>図書頒布事業</li> <li>建設工事下請取引調査</li> <li>とっとり建設☆女星 NW 事務局</li> </ul>	課長	浦田 純 子	
		主幹	藤井 成 之	
		主事	松田 春 美	
		主事	山岡 武 志	
		主事	小椋 法 子	
材料試験課	<ul style="list-style-type: none"> <li>試験検査事業</li> <li>調査研究活動</li> <li>再生砕石品質調査試験</li> </ul>	課長	宮脇 泰一郎	
		主幹	大西 慶 祐	
		技師（期限付）	矢田 洋 之	
建設支援課		建設支援課長兼建設発生土支援室長	鈴木 康 介	(県派遣)
建設発生土支援室	<ul style="list-style-type: none"> <li>建設発生土受入事業</li> <li>鳥取県建設分野担い手確保・育成連携協議会事務局</li> </ul>	参事	井上 純 一	
		参与	前田 民 子	
		参与	前田 健 文	
		技師	高島 朋 代	
技術支援室	<ul style="list-style-type: none"> <li>技術支援事業               <ul style="list-style-type: none"> <li>県、市町村等の積算、監督補助、検査業務</li> </ul> </li> <li>市町村インフラ維持管理支援</li> <li>災害復旧支援</li> <li>新技術への支援</li> <li>インフラ情報マネジメントシステム</li> <li>建設 DX 推進プロジェクト</li> </ul>	室長	井上 和 大	
		主幹	石黒 友 規	
		総括参与	反田 敏 博	
		総括参与	赤川 定	
		副主任	石井 一 彦	
		主任技師	岡野 博 樹	
		技師	伊藤 樹 里	
		技師	柏 光 顕	
		技師	田口 礼	
技師	内海 昊 老			

## 社会資本整備事業【公益目的事業】

# 3 令和 8 年度事業一覧表



令和8年度 事業別収支予算一覧表

(単位：千円)

事業名	内 訳	収入①	支出②	差引①－②	
1-1研修事業	(1) 事業収入				
	1-1-1 自主研修収入	23,243			
	1-1-2 受託研修収入	5,228			
	1-1-3 ICT(デジタル化)関連の研修	14,444			
	1-1-4 その他の研修				
	・とっとり建設産業の魅力発信講座 ・鳥取県建設分野担い手確保・育成研修 (連携協議会)	0 5,811			
(2) 公益充実資金取崩収入	200				
	小計	48,926	48,631	295	
1-2図書頒布事業	(1) 事業収入	62			
	(2) 公益充実資金取崩収入	599			
		661	661	0	
1-3試験検査事業	(1) 試験検査事業収入	79,620			
	(2) 受取地方公共団体補助金収入	23,274			
	(3) 減価償却引当資産取崩収入	14,540			
	(4) 公益充実資金取崩収入	18,000			
	小計	135,434	134,494	940	
1-4 技術支援事業	(1) 受託収入 (県関係)	①建設工事下請取引等点検調査	5,280		
		②再生砕石品質実態調査に係る試験	1,142		
		③工事積算補助	25,679		
		④ひび割れ診断	2,425		
		⑤新技術・新工法活用システム事前審査	700		
		⑥道路台帳等修正	18,003		
		⑦工事検査補助	477		
		⑧電子成果品保管・管理	1,994		
		⑨賃金水準等詳細調査	4,318		
		⑩土木工事共通仕様書の改訂	2,691		
		⑪橋梁直営点検・診断	5,734		
		⑫公共残土利用促進	5,624		
⑬工事材料の審査		8,262			
	計	82,329			
(2) 受託収入 (市町村関係)	①工事積算補助	28,063			
	②現場技術	8,795			
	③橋梁補修工事の積算、現場管理補助及び技術的アドバイス	56,184			
	④工事検査補助	4,055			
	計	97,097			
(3) その他	①災害復旧支援	3,000			
	②コンクリートひび割れ相談	2,000			
	③建設DX推進プロジェクト	0			
	計	5,000			
	小計	184,426	181,929	2,497	
1-5 建設発生土受 入事業	(1) 受入収入	①帽子取第2 (計画40,000㎡)	72,600		
		②小町 (計画135,000㎡)	258,390		
		③小原 (計画18,300㎡)	79,715		
		計	410,705		
	(2) 受取地方公共団体補助金収入	14,000			
(3) その他	65,896				
	小計	490,601	360,179	130,422	
	管理費	8,133	55,035	△ 46,902	
	当期収支差額	868,181	780,929	87,252	

## 4 社会資本整備事業

### 1-1 研修事業

建設産業の技術者の継続的かつ高度な資質の向上を図ると共に、働き方改革への対応、生産性の向上、職場環境の改善等に資するため、受講生のニーズや時代の要請に応じた研修を実施します。

#### ○令和8年度事業のポイント

第5期経営改善計画		R8年度事業のポイント
技術力の向上	階層別研修体系の整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>・安全管理、現場管理に関する研修について、熟練度に応じた研修に再編成する。</li> <li>→それぞれ基礎、リーダー、専門の3研修を実施する。</li> <li>・埼玉・八潮市での陥没事故など老朽化が進んでいる状況を踏まえ、下水道の点検・維持管理研修を実施する。</li> <li>→「下水道点検」</li> </ul>
	実践的研修（現場、グループ討議等）の充実	
	若手技術者集中研修、市町村実務研修の企画・実施	
組織力の強化	新人研修、フォローアップの充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中間管理職や経営者を対象に、リーダーシップやマネジメント力を高める研修を実施する。</li> <li>→「中間管理職マネジメント」、「経営者マネジメント」</li> <li>・建設業の事務職員を対象に、書類や契約管理、安全書類作成、写真管理、電子黒板の活用など、現場支援に直結する実務力を高める研修を実施する。</li> <li>→「現場技術サポーター養成研修」</li> </ul>
	現場管理者向けコミュニケーション研修の実施	
	経営者研修、管理職研修、OJT指導者研修の実施	
	多様な人材の活躍推進につながる研修	
新技術の実装による効率化	ICT、AIに関する研修実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>・経営や業務改善につなげるため、ICTやAIなどのデジタル技術の活用方法を学ぶ研修を実施する。</li> <li>→「ICT、AIによる業務効率化」</li> </ul>
	AI活用ハンズオン研修実施	
	現場活用トライアル研修実施	
受講環境の整備	大研修室の改修	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実践的な学びを深められる対面研修の充実と、柔軟な受講を可能とするハイブリッド研修の拡充を図る。</li> </ul>
	新研修システム運用開始	
	受付・研修資料配布電子化	
第5期経営改善計画達成に向けた取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現場見学や実技演習、グループ討議等を取り入れた実践的な研修を充実させ、現場で活かせる技術の習得を図る。</li> <li>・新卒者・若手職員・管理職・経営者など各階層を対象とした研修を実施し、人材定着と組織力の強化につなげる。</li> <li>・事務職員や多様な人材を対象とした研修を実施し、現場支援力の向上と働きやすい職場環境づくりを支援する。</li> </ul>	

(単位：千円)

区分	R8年度予算A	R7年度予算B	増減額A-B
自主研修	23,243	22,045	1,198
技術職員等研修業務	5,228	5,049	179
鳥取イノベーション実装フィールドにおける技術講習会運営業務	14,444	10,737	3,707
とっとり建設産業の魅力発信講座	0	0	0
鳥取県建設分野担い手確保・育成連携協議会	5,811	5,681	130
計	48,726	43,512	5,214

1-1-1 自主研修

業務名	内 容	収入予算 令和8年度 (令和7年度)												
<p>① 自主研修 (継続)</p>	<table border="1" data-bbox="355 338 1129 528"> <thead> <tr> <th>計画</th> <th>講座数</th> <th>受講者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R8年度</td> <td>44</td> <td>4,600人</td> </tr> <tr> <td>R7年度</td> <td>41</td> <td>4,400人</td> </tr> <tr> <td>対前年</td> <td>3</td> <td>200人</td> </tr> </tbody> </table> <p>(1) 受講区分の設定</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>研修ごとに、熟練度に応じて「新卒者→新人→初級→中級→上級」に設定する。また、「経営者」、「事務職員」の区分を設ける。</li> <li>R8年度は「安全管理」、「現場管理」について、熟練度に応じた研修に再編成する。</li> </ul> <p>(2) 実践的な研修</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>埼玉県八潮市で発生した陥没事故をはじめ、全国的に下水道施設の老朽化が進行し、適切な点検・維持管理の重要性が高まっていることから、下水道の点検・維持管理に関する研修を実施する。従来の点検手法に加え、管内調査ロボットや画像解析等の新技術の活用事例を紹介し、現場での留意点や維持管理の実務を具体的に学ぶ。</li> </ul> <p>(3) 新人若手研修の拡充</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>入社半年後の者を対象としたフォローアップ研修を実施し、グループ討議や入社1年程度の先輩職員との意見交換を通じて課題や疑問を共有し、相互理解と横のつながりを深めるとともに、仕事への意欲向上や人材定着につなげる。</li> <li>若手技術者を対象に、施工管理・安全管理を中心とした現場見学を含む5日間程度の研修を実施し、実務に直結する技術力の向上を図る。なお、研修内容の検討にあたっては鳥取県土木施工管理技士会と連携する。</li> </ul> <p>(4) 経営者・管理者向けの研修</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>中間管理職や経営者を対象に、リーダーシップやマネジメント力を高める研修を実施することで、組織運営や人材育成の手法を学び、現場の課題解決や経営改善につなげる。</li> </ul> <p>(5) 多様な人材の活躍推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>建設業の事務職員を対象に、工事・契約・安全関係書類や工事写真管理、電子黒板活用など現場支援に直結する実務を学び、対応力向上と業務効率化を図る研修を実施する。</li> </ul> <p>(6) 業務効率化研修</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>経営や業務改善につなげることを目的として、ICTやAIなどのデジタル技術の活用方法を学ぶ研修を実施する。業務効率化や生産性向上につながる具体的な活用事例を紹介するとともに、日常の現場業務や施工管理、情報共有などにどのように活かせるかを学ぶことで、組織全体でのデジタル活用の促進と業務改善につなげる。</li> </ul>	計画	講座数	受講者数	R8年度	44	4,600人	R7年度	41	4,400人	対前年	3	200人	<p>23,243千円 (22,045千円)</p>
計画	講座数	受講者数												
R8年度	44	4,600人												
R7年度	41	4,400人												
対前年	3	200人												

令和8年度自主研修計画一覧表

区分	新規	形態	研修名	加点 研修	CPD研修			受講者数 (見込・人)	
					CPDS	コンサル 協会	建築士会		
技術力の向上	基礎力学	web	河川の基礎	技術	○	○		130	
		web	やさしい構造力学 (2日間)	技術	○	○	○	100	
		web	土質の基礎	技術	○	○	○	100	
	安全管理	ハイブリッド	安全管理 (基礎)	技術	○	○	○	180	
		ハイブリッド	安全管理 (リーダー)	技術	○	○	○	180	
		ハイブリッド	安全管理 (専門)	技術	○	○	○	160	
	施工管理等	○ 対面	若手技術者集中研修			○			20
		対面	失敗事例から見る現場管理			○	○		40
		ハイブリッド	現場管理 (基礎)	技術	○	○			180
		ハイブリッド	現場管理 (リーダー)	技術	○	○			180
		ハイブリッド	現場管理 (専門)	技術	○	○			180
		web	工事施工中の環境配慮	技術	○	○	○		140
		web	仮設工	技術	○	○	○		140
		web	受発注者のための品質確保	技術	○	○	○		140
	インフラ維持管理	対面	基礎から学ぶ土木工事積算			○	○		60
		○ 対面	下水道点検	技術	○	○			40
		web	橋梁維持補修 (PC橋・鋼橋)	技術	○	○			100
		web	河川・海岸施設の維持管理	技術	○	○			90
		web	道路構造物の維持管理	技術	○	○			140
		web	橋梁点検と補修計画		○	○			140
	災害対応	web	コンクリート構造物ひび割れ補修	技術	○	○	○		140
		web	激甚化する豪雨災害への対応	技術	○	○	○		140
		web	斜面災害の発生原因と対策	技術	○	○	○		140
		web	事例から学ぶ災害対応 (地震編)	技術	○	○	○		140
	建築関係の研修	web	軟弱地盤対策	技術	○	○	○		140
		対面	建築工事の積算演習	技術	○	○	○		30
		web	建築基準法入門	技術	○	○	○		80
		web	建築工事の品質管理	技術	○	○	○		100
	組織力の強化	web	電気・機械設備の品質管理	技術	○	○	○		100
		新人研修	対面	建設業新卒者研修 (4日間)					
対面			フォローアップ研修 (半年)						20
○ 対面			若手技術者コミュニケーション	人権					20
対面			測量基礎・丁張り (2日間)						20
対面			新人技術者のための施工技術基礎	技術					40
対面			はじめての現場管理	技術					40
経営者・管理者のマネジメント		○ 対面	中間管理職マネジメント	人権	○	○			80
		○ 対面	経営者マネジメント	経営	○	○			80
		web	経営管理Ⅰ (建設DX)	経営	○	○			150
		web	経営管理Ⅱ (女性活躍)	経営	○				150
技術者倫理		対面	建設技術者倫理		○	○			40
多様な人材	○ 対面	現場技術サポーター養成研修	技術	○				60	
働きやすい職場づくり	ハイブリッド	コミュニケーション・メンタルヘルス	人権	○				180	
	ハイブリッド	人権に関する講習会	人権	○				180	
新技術の実装による業務の効率化	○ 対面	ICT・AIによる業務効率化	技術	○	○	○		60	
計				36	38	33	18	4,600	

※受講料 半日：3,300円、1日：5,000円、2日：10,000円、3日：15,000円、経営者：4,100円  
新卒者：24,000円

※CPD研修の○印は、申請予定

### 1-1-2 受託研修

業務名	内容	収入予算 令和8年度 (令和7年度)
県土整備部 技術職員研修 (継続)	技術職員の技術力向上、良質な工事執行の確保及び工事の監督業務の適正化を目的として、県土整備部技術職員研修を継続して受託します。 20 研修程度予定	5,228 千円 (5,049 千円)

### 1-1-3 ICT (デジタル化) 関連の研修

業務名	内容	収入予算 令和8年度 (令和7年度)
鳥取イノベーション実装フィールドにおける技術講習会運営業務(継続)	鳥取イノベーション実装フィールドを活用して、i-Construction や 3次元測量設計等の技術を実践的に学ぶ講習会の内容検討、講師選定、現地サポート、講師手配や CPD 申請等、研修運営を受託します。	14,444 千円 (10,737 千円)

### 1-1-4 その他の研修

業務名	内容	収入予算 令和8年度 (令和7年度)
とっとり建設産業の魅力発信講座(継続)	将来の県内建設産業の担い手確保を目的として小中学生を対象に建設産業への関心や就業意識を高めるための出前講座を、近隣の小中学校(河北小、西郷小、上北条小、河北中)で継続して開催する。	0 千円 (0 千円)
鳥取県建設分野担い手確保・育成連携協議会平成29年1月設立(継続)	鳥取県建設分野担い手確保・育成連携協議会では、各機関と連携しながら将来を見据えた持続可能な建設産業を目指し、建設産業の担い手の確保・育成のため事業を継続、拡充する。 ① 研修等運営 ・魅力発信ガイダンス、UAV 測量演習、CAD 実習、土木積算、現場見学会、資格取得支援(2級土木・建築施工管理技士補、測量士補)、インフラの維持管理、地理総合(防災と地域調査)など(高校) ・リスクマネジメント講座(大学) ・1級、2級土木施工管理技士資格取得支援(既就労者) ・第9回とっとりけんせつ魅力発信フォトコンテスト(小中学生) ・ICT促進(建設技術実証フィールド現場見学、体験実習等) ・魅力発信ガイダンス、職場見学、防災学習(小中学生) ・建設業界で働く人の交流会 ・とっとり建設アンバサダー養成 ② 情報発信 ・SNSを活用した情報発信:協議会並びに関係団体の取組等 ・インフラマップ ③ 協議会運営 ・協議会運営人件費等	5,811 千円 (5,681 千円)
計		5,811 千円 (5,681 千円)

#### 研修事業 収支予算一覧表

区分	科目	内 訳	単 位 : 千円 金 額
収入	事業収入	・自主研修	23,243
		・受託研修	5,228
		・ICT(デジタル化)関連の研修	14,444
		・その他研修	5,811
	公益充実資金取崩収入		200
計			48,926
支出	人件費	・役員報酬、給料手当、臨時雇賃金、福利厚生	22,417
	賃借料	・コピー機、パソコン、会場費、土地建物使用料	4,216
	諸謝金	・講師謝金(個人)	2,238
	委託料	・講師謝金(法人)、システム保守料	13,234
	その他	・光熱水費、CPD申請手数料ほか	6,526
	計		48,631
差引			295

## 1-2 図書等頒布事業

オリジナルけんせつ絵本の作成（R9）に向けて、令和8年度は使用するイラストの公募とストーリーを決定します。

けんせつ絵本の貸出増加の取組を行い、多くの方に建設産業の役割や大切さを広めます。  
土木工事施工管理ハンドブック等、在庫図書の販売と管理を行います。

### ○令和8年度事業のポイント

第5期経営改善計画		R8年度事業のポイント
オリジナルけんせつ絵本のイラスト募集及び作成	建設産業の魅力アップと将来の担い手確保へつなげるため、オリジナルけんせつ絵本を作成する。 ストーリーはセンターと絵本作家の共同とし、イラストは小学生から公募する。 配布は、赤ちゃんと保護者を対象に、「はじめての絵本」（ポケット版）として、乳幼児健診（1歳6か月検診）時に無償配布する。 公立図書館への寄贈、「読み聞かせ」や「けんせつフェスタ」で活用する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>絵本のコンセプト、ターゲットの設定、コンテンツ作成。</li> <li>イラスト募集要領の作成、審査委員会の設置。</li> <li>鳥取県等関係団体へ協力要請の実施。</li> </ul>
けんせつ絵本の貸出の拡充	<ul style="list-style-type: none"> <li>子どもや保護者へ建設産業の魅力を積極的に広報する。</li> <li>①蔵書を段階的に増やし、貸出への取組を強化します。R7：400冊 ⇒ R12：650冊</li> <li>②近隣保育園、学童クラブへの取組（貸出2施設、各25冊、計50冊）</li> <li>③市立図書館への常設コーナー新設（貸出4館、各100冊、計400冊） 鳥取市、米子市、境港市、倉吉市（継続実施）</li> <li>④町村立図書館への取組 年2館の巡回貸出。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①令和9年度購入に向けて、図書館司書の助言により図書選定を行う。</li> <li>②倉吉市、湯梨浜町、北栄町の保育園へ貸出。</li> <li>③鳥取市立図書館へ常設コーナーを新設。</li> <li>④貸出未実施（8館）のうち2館へ巡回貸出しを行う。</li> </ul>
第5期経営改善計画達成に向けた取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>オリジナルけんせつ絵本を活用して幼少期から建設産業への親しみを深める。</li> <li>子どもや保護者へ建設産業の魅力を積極的に広報するため、公立図書館へけんせつ絵本の貸出しを拡充する。</li> </ul>	

区分	内容	収入予算 令和8年度 (令和7年度)																									
図書頒布 (継続)	<ul style="list-style-type: none"> <li>土木工事施工管理ハンドブック等、在庫図書の販売、管理を行います。</li> </ul> <table border="1"> <caption>図書等頒布一覧表</caption> <thead> <tr> <th>図 書 名</th> <th>部数</th> <th>販売単価 (円)</th> <th>R8 収入 (千円)</th> <th>R7 収入 (千円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>土木工事施工管理ハンドブック</td> <td>20</td> <td>2,600</td> <td>52</td> <td>104</td> </tr> <tr> <td>設計、測量、地質・土質調査共通仕様書</td> <td>3</td> <td>2,851</td> <td>8</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>小構造物標準設計図集</td> <td>2</td> <td>1,069</td> <td>2</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>25</td> <td></td> <td>62</td> <td>114</td> </tr> </tbody> </table>	図 書 名	部数	販売単価 (円)	R8 収入 (千円)	R7 収入 (千円)	土木工事施工管理ハンドブック	20	2,600	52	104	設計、測量、地質・土質調査共通仕様書	3	2,851	8	8	小構造物標準設計図集	2	1,069	2	2	計	25		62	114	62千円 (114千円)
図 書 名	部数	販売単価 (円)	R8 収入 (千円)	R7 収入 (千円)																							
土木工事施工管理ハンドブック	20	2,600	52	104																							
設計、測量、地質・土質調査共通仕様書	3	2,851	8	8																							
小構造物標準設計図集	2	1,069	2	2																							
計	25		62	114																							
オリジナルけんせつ絵本のイラスト募集及び作成 (新規)	<ul style="list-style-type: none"> <li>オリジナルけんせつ絵本を通じて、誰に何を伝えたいのか、コンセプトを設定し、絵本作家と共同でストーリーを作成する。</li> <li>イラスト募集要領の作成、審査委員会の設置を行う。</li> <li>多くの子供たち（小学生を予定）に応募してもらうため、鳥取県等関係団体へ協力要請、PR活動を行う。</li> </ul> (R9：イラスト募集（夏休み期間）、絵本印刷)	—																									
けんせつ絵本貸出の拡充 (継続)	<ul style="list-style-type: none"> <li>蔵書図書の増加：令和9年度に100冊購入に向けて、図書館司書の助言により図書選定を行う。</li> <li>たじりこども園、ながせこども園へ貸出する。</li> <li>鳥取市立図書館内に、けんせつ絵本の常設コーナーを新設する。</li> <li>公立図書館のうち貸出未実施の図書館へ巡回貸出しを行う。（大山町：大山分室、名和分室）を予定。</li> <li>とっとり建設☆女星ネットワークとの連携 けんせつ絵本のおはなし会を公立図書館、よりん彩フォーラムで予定。</li> </ul>	—																									

### 図書頒布事業 収支予算一覧表

図書頒布事業 収支予算一覧表			単位：千円
区分	科 目	内 訳	金 額
収入	事業収入	・土木工事施工管理ハンドブックほか	62
	公益充実資金取崩収入		599
	計		661
支出	人件費等	・給料手当、福利厚生、電気代、建物・土地使用料ほか	661
	計		661
	差引		0

## 1-3 試験検査事業

### ○令和8年度事業のポイント

- ・県内唯一の公的試験機関として試験精度維持に努め、ISO17025 に適合する JNLA 登録事業者の更新をし、依頼者の信頼度を高めます。
- ・試験業務DX推進、試験実施体制強化によって、依頼者の利便性向上、試験業務の効率化を図り、試験件数確保につなげます。

第5期経営改善計画	R8年度事業のポイント
ISO17025 (JNLA) 維持	・登録更新期限8月までに更新審査を受審する
試験業務DX推進	・試験システム更新に伴い、受付WEB化、試験成績書電子化を行い、依頼者利便性向上を図る
試験業務迅速化のため業務効率化、試験実施体制の強化	・測定記録の電子化、ペーパーレス化の計画を進めます ・OJTにより全職員ができる項目を増やす ・コンクリート試験責任者、土質試験責任者を増員する
試験件数維持・確保	・HPへの試験情報掲載、関係団体、企業等訪問により新規導入する配合試験などのPRを実施する
職員の技術力向上	・試験OJTに動画等を活用し、ノウハウ等のデータを蓄積する ・調査研究活動を進める（劣化コンクリートの塩化物イオン浸透、暑中コンクリート対策） ・技術動向の情報収集を継続する ・コンクリート試験要員認定研修を受講する
第5期経営改善計画達成に向けた取組	・依頼者からの信頼度向上のため、試験業務のDX化による依頼者利便性向上、業務の効率化による試験業務迅速化を進める ・人材育成により試験実施体制の強化を図る

#### 【業務概要】

##### 1 ISO17025 (JNLA) 維持

- ・ISO17025 (JIS Q 17025) に適合する試験機関 (JNLA 登録事業所) として、マネジメント活動を継続します。
- ・JNLA 登録更新期限の8月までに外部審査機関 (NITE 認定センター) による更新審査を受審します。
- ・試験精度を維持し、信頼ある試験結果を提供するため、コンクリート、骨材試験の外部精度管理 (他試験機関と同一試料で同じ試験を実施して結果を比較) を実施します。

##### 2 試験業務DX推進

- ・試験システム更新に伴う受付のWEB化、試験成績書の電子化により依頼者の利便性向上を図り、受付や成績書作成業務の入力手間を減らして業務時間の短縮を図ります。

##### 3 試験業務迅速化のため業務効率化、試験実施体制の強化

- ・省力化、ペーパーレス化のため、現在行っている試験記録のデータシートへの記入をパソコン等へ直接入力してデータ化していくことを計画します。
- ・各試験のOJTを継続し、全職員が担当できる項目を増やします。
- ・試験実施体制強化として全職員の試験責任者登録を目指し、R8はコンクリート試験責任者、土質試験責任者を各1名増員します。

##### 4 試験件数維持・確保

- ・HPの活用、関係団体、企業等訪問により、新規導入する配合試験や鳥取県の土木工事共通仕様書に試験場所の指定のないコンクリート維持系試験、水の試験などのPRを行い、依頼件数確保につなげます。
- ・HPに試験受付日カレンダーを掲載し、休日試験取止めに伴い、試験稼働日をわかりやすくします。

## 5 職員の技術力向上

- ・試験OJTに利用するため、動画、写真を用いて試験手順、ノウハウ等の記録を蓄積して、全職員が利用しやすい形で運用していきます。
- ・技術力向上のため、調査研究活動を進めます。  
(劣化コンクリートの塩化物イオン浸透) 鳥取大学が行う複合劣化時の塩化物イオン浸透の研究に参加し、構造物の劣化予測等の維持管理に役立てるためのデータの集積、分析を行います。  
(暑中コンクリート対策) 暑中コンクリート対策検討会に参加し、現場の課題である暑中コンクリート対策について検討を進めます。
- ・調査研究の新たなテーマの発掘、新規試験導入につなげるため、技術動向の情報収集を継続します。
- ・コンクリート試験に関する外部研修受講等、計画的に人材育成を進めます。

### 【試験項目別収入】

試験分類	令和8年度予算 A		令和7年度予算 B		増減額 A-B	
	件数	金額 (千円)	件数	金額 (千円)	件数	金額 (千円)
土質	1,770	33,640	1,630	23,330	140	10,310
骨材	910	10,720	930	6,600	△20	4,120
コンクリート	21,370	33,340	21,130	30,970	240	2,370
アスファルト	410	1,400	440	1,150	△30	250
水	40	520	40	460	0	60
計	24,500	79,620	24,170	62,510	330	17,110

### 試験検査事業 収支予算一覧表

単位：千円

区分	科目	内 訳	金 額
収入	事業収入	・試験検査収入	79,620
	受取地方公共団体補助金収入		23,274
	減価償却引当資産取崩収入		14,540
	公益充実資金取崩収入		18,000
	計		135,434
支出	人件費	・役員報酬、給料手当、臨時雇賃金、福利厚生	53,007
	賃借料	・土地建物使用料	4,838
	光熱水費	・光熱水費	5,230
	什器備品購入支出	・圧縮試験機、CBR試験機附属パソコンほか	37,814
	建物建設支出	・試験棟執務室環境整備	1,200
	ソフトウェア購入支出	・新システム開発費用ほか	15,000
	その他	・消耗品費ほか	17,405
	計		134,494
	差引		940

## 1-4 技術支援事業

市町村の技術者不足及び老朽化が進むインフラの適切な機能確保が課題となっており、発注者のニーズを踏まえ、積算・橋梁補修設計アドバイス、現場技術、検査補助等に加え災害復旧支援を実施する。また建設DXの取組を推進させ、デジタル技術やAI技術を活用した業務の効率化を図ります。

### ○令和8年度事業のポイント

第5期経営改善計画		R8年度事業のポイント
インフラ整備・維持管理の支援	工事積算補助業務	・生成AI等の活用を検討し、業務効率向上や技術者育成を行い、支援拡大と品質向上を図る。
	現場技術業務・工事検査（補助）業務	・遠隔臨場などの新技術活用等で業務実施体制を確保し、業務の受注拡大を図る。
	橋梁アドバイス業務 （インフラ情報マネジメントシステム含む）	・提案型の支援範囲を広げ、小規模橋梁の構造計算支援の試行を行う。
	コンクリートひび割れ診断指導業務	・資格取得者の増加による業務体制の充実と技術力の向上を図る
	災害復旧支援業務	・災害があれば対応する。 ・デジタル技術を活用した支援技術を修得する。
インフラ関係データ、システムの運用・管理	道路台帳等修正業務	・県総合道路台帳システムの運用管理や市町村業務への拡充を検討する。
	電子成果品保管・管理業務	・県が整備する工事監理システムにおける電子納品に対応した業務内容を検討する。
	橋梁アドバイス業務 （インフラ情報マネジメントシステム）	・インフラ情報マネジメントシステムを活用した業務を継続実施。（橋梁長寿命化修繕計画改定業務、概数発注業務） ・鳥取県SIPの動向を注視しながら業務拡大を目指す。
	建設DX （ドローン、3Dデータ、遠隔立会、AI技術）	・内製化した3Dモデルの精度向上を図り、概数発注作業の効率化、災害支援業務での実行性を向上させる。 ・新たな取り組みとして、構造物近接ドローン等による構造物の3Dモデル化と点線診断等に活用する検討を進める。 ・遠隔立会を実務化し移動時間の縮小、少人数での複数現場対応、技術共有を実現する。 ・生成AIの試行を行い、業務に適したAI技術を導入する
高い技術力への支援強化と人材育成	センター職員の技術力向上	・計画的な研修受講、資格取得
	賃金水準等詳細調査業務	・計画的な業務遂行を実行する。
	建設産業の魅力発信講座	・関係機関との連携 ・実体験を重視したプログラム
第5期経営改善計画達成に向けた取組	第4期経営改善計画に対して、県受託事業は計画どおりの進捗、市町村受託は目標を達成している。 特に市町村支援業務は拡大しており、業務量に応じた支援体制の整備やデジタル技術を活用した更なる業務の効率化や品質向上に向けた取組を進めていく。	

〔受託収入一覧表〕

（単位：千円）

区分	R8年度予算 A	R7年度予算 B	増減額 A-B
受託（県）	82,329	75,512	6,817
受託（市町村）	97,097	80,969	16,128
民間事業	2,000	2,000	0
自主事業	3,000	7,593	△4,593
計	184,426	166,074	18,352

(1) 受託 (県関係)

業務名	内容	収入予算 R 8 年度 (R7 年度)	担当課
①建設工事下請取引等点検調査 (継続)	県発注の建設工事に係る下請取引等について適正化を図るため、その取引状況 (下請代金の見積・契約方法等) が建設業法の規定に違反がないか点検調査を行います。 (R8) 約 200 件	5,280 千円 (4,994 千円)	総務研修課
②再生砕石品質実態調査に係る試験 (継続)	再生砕石は、既設の構造物 (コンクリート、アスファルト等) を破砕したものを原材料としており、原材料の均一性を確保することが困難なことから、新材と比べ品質規格を満足しないことが生じやすいため、センターにおいて、ふるい分け試験等を行い、品質を調査します。	1,142 千円 (857 千円)	材料試験課
③工事積算補助 (継続)	業務委託成果品をもとに、発注者用図面作成、設計数量のチェック及び算出、工事価格の積算等を行います。 (R8) 道路、河川、砂防・治山	25,679 千円 (25,697 千円)	
④ひび割れ診断 (継続)	コンクリート構造物に発生したひび割れの診断を行い、ひび割れ抑制の指導を行います。 (R8) 10 箇所	2,425 千円 (2,215 千円)	
⑤新技術・新工法活用システム事前審査 (継続)	県内の建設業者等で開発された新技術等の利活用の促進と製品の販路拡大を目的に、その工法及び製品が公共工事に活用について事前審査を行います。 (R8) 5 件	700 千円 (700 千円)	
⑥道路台帳等修正 (継続)	道路工事後の道路形状変更、供用開始の告示資料、道路台帳付図の修正、道路情報便覧更新作業、道路現況調査票や交付税基礎数値算定資料などの作成を行います。	18,003 千円 (16,559 千円)	
⑦工事検査補助 (継続)	当初請負対象設計金額が 15,000 千円未満の工事について、工事完成資料の事前確認を行います。 (R8) 11 箇所	477 千円 (477 千円)	
⑧電子成果品保管・管理 (継続)	県工事及び測量設計業務に係る電子成果品 (CD 等) を保管および管理します。 (R8) 230 枚	1,994 千円 (1,600 千円)	建設支援課
⑨賃金水準等詳細調査 (継続)	県発注工事において、専門業者 (とび、型枠、鉄筋等 5 業種) への下請契約が、適正な賃金水準で契約されているかどうか調査するもの。下請契約の見積金額と設計金額とを対比させた資料を作成します。 (R8) 600 工種程度	4,318 千円 (4,318 千円)	
⑩土木工事共通仕様書の改訂 (継続)	県の土木工事施工管理ハンドブック、業務共通仕様書の改訂作業の支援と電子書籍化を行います。	2,691 千円 (1,511 千円)	
⑪橋梁直営点検・診断 (継続)	橋梁直営点検の点検実地指導、診断指導、健全度判定会の運営・とりまとめを行います。 (R8) 点検 5 事務	5,734 千円 (6,300 千円)	
⑫公共残土利用促進 (継続)	県主催の建設発生土対策連絡協議会の開催補助を行います。 施工管理の効率化を図るため、UAV 空中写真測量から 3 次元データの作成を行います。	5,624 千円 (2,836 千円)	
⑬工事材料の審査業務 (継続)	県発注工事で使用する工事材料の事前審査を行います (R8) 約 350 点	8,262 千円 (7,448 千円)	
計		82,329 千円 (75,512 千円)	

## (2) 受託（市町村関係）

業務名	内容	収入予算 R 8 年度 (R7 年度)	担当課
①工事積算補助 (継続)	市町村が発注する工事のうち、主に専門的な技術を必要とする工事の積算を行います。 下水道推進・管更生など特殊工事の積算に取り組み、積算技術と品質の向上を図ります。(R8) 1市1町	28,063千円 (34,717千円)	建設支援課
②現場技術 (継続)	市町村が発注する工事のうち、主に専門的な技術を必要とする工事の現場技術業務を行います。(R8) 1市1町	8,795千円 (5,214千円)	
③橋梁補修工事の積算、現場技術及び技術的アドバイス (継続)	市町村が発注する工事のうち、特に専門的な技術を必要とする橋梁補修工事に対するアドバイスをを行います。 (R8) 2市7町 東北大学との共同研究成果である「インフラ情報マネジメントシステム」を活用し3町で支援を行っている。市町村の橋梁メンテナンスサイクルに係る支援強化を図るとともに、点検診断から補修工事に関する一連データの管理活用を進めます。鳥取SIPの動向も注視していきます。 (購入物品) 構造物点検ドローン、測量機器(GNSS, LRTK)	56,184千円 (38,940千円)	
④工事検査補助 (継続)	市町村発注工事の工事完成検査について、請負業者が作成した工事完成資料及び現地の確認を行います。(R8) 2市	4,055千円 (2,098千円)	
計		97,097千円 (80,969千円)	

## (3) 民間事業

業務名	内容	収入予算 R 8 年度 (R7 年度)	担当課
①コンクリートひび割れ相談 (継続)	コンクリート構造物のひび割れをコンクリート診断士が調査し、原因、補修の要否及び補修方法を記載した「ひび割れ診断報告書」の作成に加えひび割れ抑制・防止対策等について指導・助言します。 (R8) 15件	2,000千円 (2,000千円)	建設支援課

## (4) 自主事業

業務名	内容	収入予算 R 8 年度 (R7 年度)	担当課
①災害復旧支援 (継続)	被災状況等の調査、復旧工法等の技術的助言及び査定設計書等の作成を行います。 災害発生時の迅速な災害支援を目的として市町村との災害支援協定の締結を検討します。 災害復旧分野におけるデジタル技術を活用した効率化について検討を進めます。(R8) 5件	3,000千円 (3,000千円)	建設支援課
②建設DX推進プロジェクト (継続)	施工管理の効率化を図るため、UAV 空中写真測量から3次元設計データの作成を行います。 土木インフラの維持管理計画や判断支援ツールの開発を目指した取組として、地上型レーザースキャナーを使用し、高精度3次元モデルによる損傷分布の把握と図面化を含めた点検記録方法の検討を進めます。 業務の効率化に資する先進取組事例(AI技術等)を収集し、導入について積極的に検討します。 (R8) 残土処分場点検、構造物のモデリング (購入物品等) 3D設計CAD, 生成AI	0千円 (4,593千円)	
計		3,000千円 (7,593千円)	

### 技術支援事業 収支予算一覧表

区分	科目	内 訳	金額
収入	事業収入	・受託（県）	82,329
		・受託（市町村）	97,097
		・その他（ひび割れ、ドローン、橋梁）	5,000
	計		184,426
支出	人件費	・役員報酬、給料手当、臨時雇賃金、福利厚生	123,720
	賃借料	・橋梁マネジメント、土木積算システム使用料	15,110
	光熱水費	・電気代ほか	1,350
	什器備品購入支出	・点検用ドローン、GNSS測量機等	7,800
	その他	・消耗品費、租税公課ほか	33,949
	計		181,929
	差引		2,497

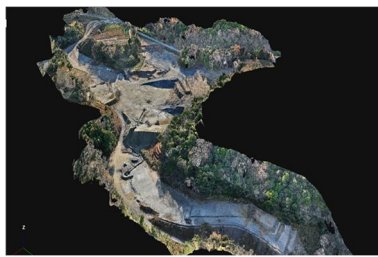
## 1-5 建設発生土受入事業

公共工事から発生する建設発生土の処分を適切かつ効率的に行うことにより、公共工事の円滑な推進に寄与しています。令和8年度は、帽子取第2、小町、小原の3事業所で継続して建設発生土の受入れを行います。

### ○令和8年度事業のポイント

(単位：千m<sup>3</sup>)

第5期経営改善計画		計画受入土量	R6まで受入土量	R7受入土量(見込)	R8年受入土量(予定)	受入可能土量	R8年度事業のポイント
<ul style="list-style-type: none"> <li>・経済性の確保と持続可能な事業運営</li> <li>・安全・品質の確保と社会的信頼の向上</li> </ul>	帽子取第2事業所	455	315	40	40	60	・毎年の受入土量実績から4万m <sup>3</sup> を受入れ予定。
	小町事業所	900	397	135	135	233	・NEXCOの2工事区間等から13.5万m <sup>3</sup> 受入れ予定。
	小原事業所	183	136	29	18	0	・残すは、工事用道路撤去に伴う残土の搬入及び仕上げ工事の実施。
・公益的価値の向上と新たな活用の推進	全事業所	—	—	—	—	—	・R7年度末処分場整地等積立資金の残額。390,487千円
・新規候補地の検討と将来対応	中部管内	—	—	—	—	—	・候補地選定を含め県と協議中。
計		1,538	848	204	193	293	
第5期経営改善計画達成に向けた取組		<ul style="list-style-type: none"> <li>・適正な料金設定や効率的な運営に努め、経済性と公益性の両立を図る。</li> <li>・盛土規制法の施行を踏まえ、安全性・安定性を最優先とした処分場管理を徹底する。</li> <li>・工事間流用の際、時期調整のため処分場の平場を仮置き場として活用する等柔軟な資源循環を推進する。そのため、公益充実資金等の活用を検討し将来に備えた体制整備を進める。</li> <li>・中部管内で唯一の当センター帽子取第2事業所の残稼働年数も2~3年と早急な対応が求められるため、優先的に新規処分場の候補地選定に県と連携して着手する。</li> </ul>					



## 【事業概要】

### (1) 開設中の事業所

#### ①帽子取第2事業所

- ・R8年度の受入土量は、R7年度と同規模の40,000 m<sup>3</sup>を予定しています。
- ・造成工事の効率化を図るため、2週おきの開所・閉所をR8年度も継続します。
- ・本年度も持続的な事業運営が行えるよう、県と協定を締結し造成工事費用の一部を県で負担しています。(予算額14,000千円)

#### ②小町事業所

- ・R8年度はNEXCO等からの受入土量135,000 m<sup>3</sup>を見込み、造成及び暗渠排水管の施工を予定しています。
- ・稼働期間がR14年度まで伸びる見込みとなっている。

#### ③小原事業所

- ・鍵掛峠トンネル工事専用に係る工事用道路撤去に伴う残土18,000 m<sup>3</sup>を受入れ、土砂の受入を終了するとともに仕上工事を実施する予定です。
- 仕上工事完了後は、速やかに日南町へ跡地引き渡しを行う予定。

### (2) 民間処分場と競合しない地域の事業所

#### ①中部県土局管内新規箇所

- ・候補地選定を含め県と協議中である。

## 受入収入一覧表

小町：1,914 円/m<sup>3</sup>、小原：4,356 円/m<sup>3</sup>、帽子取第2：1,815 円/m<sup>3</sup>

地区	事業所名	R8年度予算 A		R7年度予算 B		増減額 A-B (千円)
		土量(m <sup>3</sup> )	収入(千円)	土量(m <sup>3</sup> )	収入(千円)	
中部	帽子取第2 (東伯郡琴浦町)	40,000	72,600	40,000	72,600	0
西部	小町 (西伯郡伯耆町)	135,000	258,390	135,000	258,390	0
	小原 (日野郡日南町)	18,300	79,715	26,000	113,256	△33,541
計		193,300	410,705	201,000	444,246	△33,541

R8年度 工事予算一覧表

(単位：千円)

地区	事業所名	支出予算額	備考
中部	帽子取第2 (東伯郡琴浦町)	70,000	場内造成工事 (R8 現年予算)
西部	小町 (西伯郡伯耆町)	130,000	場内造成工事及び暗渠配水管設置工事 (R7 債務負担)
	小原 (日野郡日南町)	90,000	側溝設置工事等仕上工事 (R8 現年予算)
災害対応		10,000	
計		300,000	

事業所別受入土量見込

(単位：千m<sup>3</sup>)

地区	事業所名	受入期間	全体土量	R7受入土量	R7未受入累計	R8受入土量	R8未受入累計	R8未受入可能土量	進捗率 (%)
中部	帽子取第2	R2.2~R10年度	455	40	355	40	395	60	86%
西部	小町	R3.10~R14年度	900	135	532	135	667	233	74%
	小原	R2.7~R8年度	183	29	165	18	183	0	100%
計			1,538	204	1,052	193	1,245	293	

建設発生土受入事業 収支予算一覧表

単位：千円

区分	科目	内 訳	金 額
収入	事業収入	・帽子取第2	72,600
		・小町	258,390
		・小原	79,715
	受取地方公共団体補助金収入		14,000
	その他 受取利息収入ほか		9
	公益充実資金取崩収入		65,887
計			490,601
支出	人件費	・役員報酬、給料手当、臨時雇賃金、福利厚生	36,006
	工事請負費	・岩美第二、帽子取2、小町、小原	300,000
	委託料	・水質検査ほか	2,100
	その他	・事業所土地使用料ほか	22,073
	計		360,179
差引			130,422

## 5 法人の運営・管理の運営

### (1) 理事会及び評議員会の開催について

#### ①理事会

開催時期	内 容
R8年5月	R7年度事業報告及び決算について 代表理事の選定について 評議員会の開催について
R8年10月	R8年度職務執行状況について
R9年3月	R9年度事業計画書等について 評議員会の開催について

#### ②評議員会

開催時期	内 容
R8年5月	R7年度事業報告及び決算について
R9年3月	R8年度事業計画書等について

### (2) 監事監査の実施について

開催時期	内 容
R8年4月	R7年度決算監査
R8年11月	R8年度定例監査

### (3) 「けんせつフェスタ 2026」の開催

主にファミリー層を中心に、当センター並びに建設産業に親しみを持っていただけるよう、子どもたちが楽しめる体験型のイベントを行います。